

## 6つの視点での評価に係る事務局整理表

評価の視点 (評価基準)	番号と評価事項 【計50項目】 ※( )の番号は、中期計画及び年度計画の番号
【 <b>顕著</b> 】 1項目 (顕著な成果をあげた取組)	(39) 「SMARTワーク・アクションプラン」の策定・実行による時間外勤務の対前年比▲14.7%の減少
〈 <b>独自</b> 〉 3項目 (大学の色や特性を活かした取組)	(4) 県立大学独自の「もやいすと育成システム」や「学生GP制度」をとおした地域の諸課題を題材とする教育の推進 (5) 県立大学独自の「もやいすと育成システム」の中に新たに「もやいすと：グローバル」プログラムを導入するための検討の推進 (25) 「地域に学び、地域に伝える」を基本理念とする独自の新「食育ビジョン」の推進
〔 <b>新規</b> 〕 3項目 (新たな取組)	(13) グローバル化の推進に向け業務を集約する新たな組織の検討の推進 (29) 海外滞在中の学生向けの新たな危機管理対応サービスの提供開始 (31) 日本や熊本の文化、文学、環境、社会等に関する内容を英語で学ぶ留学生受入プログラム「Japan Studies」の試行
「 <b>着実</b> 」 16項目 (継続的な実施により着実な成果をあげた取組)	(1) 国の高大接続改革に伴う大学入学者選抜改革への対応 (9) 全学部全学科（環境共生学科食健康環境学専攻を除く）へのキャップ制導入 (10) 個人指導や試験対策講義による第33回管理栄養士国家試験合格率97.4%（不合格者1人）の確保 (15) 授業料減免の継続、地震減免の追加受付 (17) 九州地区平均を上回る就職率97.4%の確保 (19) 各研究科における地域課題に貢献する研究の推進と成果の発信 (20) 科研費への応募率が6年連続で100%達成 (21)、(22)、(41) 研究支援体制の充実・強化 (24) 地域貢献研究事業等を活用した地域貢献の推進 (26) 共同研究・受託研究の件数増加 (34) 総合性と専門性のバランスによる知の形成に向けた附属機関の見直し (35) 計画的なSDの実施 (44) 第3期認証評価に向けた内部質保証システムの整備の推進 (48) 防災・減災の拠点形成に向けた取組の推進
〔 <b>注目</b> 〕 2項目 (マスコミ・報道等から注目された取組)	(2) 環境共生学研究科における水銀研究留学生への博士号授与 (27) 国際シンポジウム「日本と東アジアの経済協力」の開催

<p>《課題》 5項目 (進行の遅れがみられる又は改善が望まれる取組)</p>	<p>(3) 大学院の入学確保に向けた取組の推進 (12) 全学FDにおける参加者の確保 (14) ボランティア活動や課外活動の活性化に向けた課題の検討（自己評価B） (23) アーカイブ資料のホームページでの公開（自己評価B） (28) 留学に興味がある学生のサポート体制の検討（自己評価B）</p>
<p>※6つの評価の視点に今回該当しないと評価した取組 20項目</p>	<p>(6) 英語を含む外国語教育の改善 (7) 学生の英語能力の向上に向けた取組の推進 (8) 学修成果の適切な評価と学位授与方針を踏まえた教育課程編成・実施の方針の検証と改善 (11) 中期的な人事計画に基づく教員採用の実施 (16) 学生の心身に係る健康支援と修学支援への取組 (18) 学生の就業力の育成と県内就職の促進 (30) 学生の国際的視野の涵養への取組 (32) 海外協定校等との研究者交流や共同研究等の実施 (33) 理事長と学長による政策的、効果的な大学運営と社会の変化への対応 (36) 個人評価制度等による教員の教育研究活動の評価と改善 (37) 女性教員比率20%以上に向けた取組の推進 (38) プロパー職員の人材育成に係る取組の推進 (40) 学生納付金の安定確保と社会状況等に応じた改定の実施 (42) 熊本県立大学未来基金の活用 (43) 経費節減に係る取組の点検・改善と効率的な運送及び経費抑制の実施 (45) 教育研究活動に係る積極的な情報発信と法人運営に係る説明責任への対応 (46) 施設設備の適正な維持管理と計画的な整備改修の実施 (47) 情報セキュリティ対策の強化 (49) 教育員の心身に係る健康相談・健康管理の実施 (50) 学生及び教職員への人権侵害に関する意識啓発と相談対応への取組</p>